

FZR250R

4-CYCLE SUPER SPORTS

YAMAHA



この写真は、プロフェッショナルライダーのツーリング走行を撮影したものです。一般公道では無理な走行をせず、ヘッドライトを点灯し、安全運転をしましょう。



ヒューマン・レスポンス、ニューFZR250R。 人の五感に響く性能が新しい時代のオートバイを語る。

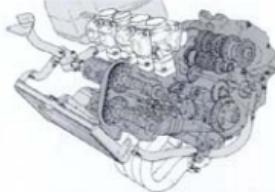
FZR250R。このマシンを開発するに際し、ヤマハは、ただ速く走るための高性能ではなく、駆る人の気持ちに応える高性能、人の五感に響く高性能を追求した。そしてもう一度MAN-MACHINEのシステムについて、スペックとスペックの間に潜む不思議な作用について考えた。例えば加速性能。人はアクセルを開ける瞬間、ストレスのないパワフルな加速力を欲する。どの回転域からであろうとも。そうなると、低回転域を犠牲にすることなく、高回転域までパワフルに一気に吹き上がる加速性能が必要になる。ニューFZR250Rは、その要求にハイパフォーマンスなニューインジン+E XUPで見事に応えた。イメージ通りにマシンを走らせたいという人の気持ちに、ハードウェアが応える。これが、ヤマハの考える「ヒューマン・レスポンス」。ニューFZR250Rは、YZF750を世に送り出したあの

“ジェネシス”のコンセプトを継承し、すべてを新たな基準で設計。エンジン、フレーム、ブレーキ、サスペンションなど個々のハードウェアの性能を極限まで高め、それをマシン全体の性能へと還元している。人の気持ちをマシンに伝え、マシンの性能を人に伝える。

まさに進化と呼ぶに値する高性能、ヒューマン・レスポンスを備えたニューFZR250R。これからこのオートバイが備えるべきこの性能基準が、新時代の高性能を語る。



全域パワーバンド、最高45.4バルブ
DOHC水冷・インラインエンジン



ニューFZR250Rに搭載されるニューエンジンは、軽量ピストン、ピストンクーラーという高回転域での使用、苛酷な条件下での使用を考慮したチューンが施された。そして、コントロルからバルブタイミング、イグニッションシステムまで、細部に及ぶ全面見直しがかかり、高回転域のパワーアップを実現。メーターフルスケール21,000rpmという想像を超えるパワーバンドを手にした。最高出力45ps/16,000rpm、最大トルク2.5kg·m/12,000rpm、しかし、このスペックの裏では、全回転域での

扱いやすさが同時に達成されている。人間の気持ちに応えるハーフルで感動的なアクセルワーク。そして、しなやかで扱いやすいディスクト、これがヒューマン・レスポンス、ニューFZR250Rの真価だ。

低回転域のパフォーマンスを高める
排気デバイス「EXUP」装着マフラー

エンジン回転数に合わせ、コンピューター制御により排気効率を最大限にするEXUP、コンピューターを核とするイグナイタユニットが、回転数に対応する信号を受けサポモ

ーターにより可変バルブを駆動。エキゾーストパイプの集合部にかかる排気圧力の脈動をコントロールし、優れた排気効率を実現する。いわばエキゾーストパイプが、回転域に合わせ最大効果を生む形で変更しているイメージだ。これが低回転域も犠牲にしないヒューマンな全域高感度を生み出している。さらに、EXUPは「音」にまで注目し、心地よく力強く響くエキゾ





ースト・ノートを実現。乗る人の気持を搔きぶらにはおかない。

なめらかなスタイリングを実現させた

フレームマウント式フルフェアリング

精悍なレーシー・フォルムでありながら、より優雅なスタイリングに生まれ変わったニューFZR750R。フランク・サーキニスのデュアルヘッドライトが、美しいエアロダイナミクス・シェイプに貢献している。ローポジションにセッティングされたセバレートハンドル、低いシート高、コーコボトルのようなこのフォルムはライダーとマシンを両体に変える。

エアの充填効率を高める

新設計F.A.I.

フルフェアリングには新設計のF.A.I. (Fresh

Air Intake)を配置。常にフレッシュエアを取り入れ、エアクリーナーへ供給。エアーの充填効率を高め安定したエンジン性能を発揮させている。



信頼性の高い異径4ポートキャリバー搭載
フロントダブルディスクブレーキ

大型φ282mmのダブルディスクに、異径4ポッ



トキャリバーを装備。確かな制動能力と絶妙なブレーキキックは、体力をつかうコントローラブル。人に課せられたマン刹間の信頼性を高めるブレーキシステムだ。

ドリンク性能、快適な乗り心地を実現した。ニュアルミニマルボックス・フレーム&アルミニタルボックス・リアアーム

黒のままにマシンをコントロールする。MAN-MACHINEのグッド・コミュニケーションを感じるとき欠かすことのできないフレームとリアアーム。ニューFZR750Rは、YZF750のノウハウをフルバックさせた。先進のアルミニタルボックス・フレームとアルミニアルボックス・リアアームを新採用し、高い剛性と軽量化を実現。高次元での相互のマッチングが、高い運動性能とコントローラブルなハンドリング特性を獲得した。ニューFZR750Rは市街地、高速道路、タイトコーナーなど、数々の場面でその真価を発揮するはずだ。





●シルバー/ホワイト/ロイヤルブルーメタリック



●シルバー/ホワイト/フレッシュレッド



●ブルー/ブラック/ホワイト

FZR250R

FZR250R仕様諸元

型式	YAMAHA FZR250R
全長・全幅・全高	2,095mm 675mm 1,120mm
軽開屈距	1,275mm
シート高・最低地上高	775mm/145mm
乾燥重量	141kg
油箱・足場・テクニカル	50L(150km/h)
前輪・後輪	2.05kg
前輪・後輪	14.0(65/90-17)
タイヤ	ミゼラブル・ホワイト
気筒数・排気量	249cc
内径×行程	48.0mm×34.5mm
圧縮比	10.0:1
最高出力	45ps@16,000rpm
最大トルク	7.5kgm@12,000rpm

点火方式
始動方式
燃料タンク容量
エンジンオイル容量
潤滑方式
バッテリー容量・形式
空気濾過機・減速比
クラッチ方式
変速機方式
実走行距離
燃料充電器・形式
タイヤ・ホイール
最高走行速度・最速走行距離

3L
1.4L
2.74
12V10Ah(10) GM10-JA
8.7kg/2.642(kg/35)
チューン: 3.734 (59/17)
1速多段
3.090/2.214/1.777 / 50.0 33.0 1.173
ブロードカバー
ブロードカバー
100.80/1.524/1.30/1.162
油圧ダブルディスク・リニア式シングルディスク

●各部は洗練された試験条件のもとでの値です。特に走行距離、速度・車重・整備などの諸条件によく異なります。●車は手動車でありますことをお読みください。●車の運転には専門知識が必要になります。●車の運転には専門知識が必要になります。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

■ヘルメットを正しくはめましょう。■バイクは普段もライトオン。■点検・整備を忘れずに。■安全のため改造はやめましょう。■競争防止のため不必要なからではやめましょう。■安全速度で走りましょう。無理な走れはやめましょう。●よく見る、よく見られるときに限ります。●普段のライオンはからうロードバイクで。●競技用に改造した車両での公道走行はできません。●カーフ・交差点ではヨロイシンドウ。●YESSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

Y.E.S.S.

バイクライフを大きく広げる
Y.E.S.S.に、参加しませんか?

●YESS(イエス)とは、YAMAHA EARTHLY SPORTS STAFFの略。バイクを核にした幅広い楽しみを提供する、まったく新しいクラブです。●特典もいろいろ。入会のお申し込み、お問合せは、YESSのステッカーのあるYESS加盟店へどうぞ。



ヤマハライディングスクール
に参加しませんか?

国際公認ライダー やヤマハのインストラクターが、理論と実践の両面からライディングテクニックを伝授。クローズドコースでのサーキットランが、日常の走りを大きく飛躍させます。お問合せ、お申し込みは、このマークのヤマハ販売店へ。

見る見る走るいい運転
バイクは普段もライトオン!
I'm there.

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県藤枝市野良2500
900-500-010100

「軽自動車」
お手軽なバイクの買い方です。
支那人

ヤマハ
ライセンシング
3回から36回までの分割払い(月々のお支払いは3,000円から)、ボーナスでの一括払いや2回払いなど、ご希望に合わせていくつのコースから選択できる便利なクレジットです。販売店でおたすねください。